

令和4年12月

議会・委員会



- 2日 本会議・一般質問
5日 本会議・一般質問、会派代表者会議
6日 本会議・一般質問、県政協議会
7日 本会議・一般質問
8日 予算特別委員会、同分科会、建設委員会
9日 建設委員会・所管事項審査
14日 予算特別委員会・分科会報告
19日 予算特別委員会・総括審査



- 20日 予算特別委員会・分科会報告
21日 予算特別委員会
22日 本会議

政務調査・要望対応

- 1日 ドリームテテ・キルティング展視察インタビュー
8日 商工会議員連盟情報交換会
15日 第二回秋田活性化ワークショップ・能代市
18日 石沢学校食堂応援

- 21日 森林組合長との意見交換会
22日 建設振興議員連盟 執行部との懇談会
23日 由利本荘警察署
26日 由利地域振興局農林部・松本地区災害復旧について
27日 訪問介護事業所から聞き取り活動
28日 就労支援事業所運動納め アリーナ

行事

- 11日 由利本荘市歩こう会忘年会
16日 ロータリークラブ例会・家族会
22日 倫理法人会忘年会

写真 12/28 就労支援事業所



秋田県議会議員

討議資料



小野一彦

かつひこ

「コマネズミ」の如く行動し思いを形にする!!

Vol.08

第8号 令和5年3月発行 発行:小野一彦
秋田県由利本荘市上大野85-1
TEL. 0184-74-6736/FAX. 0184-74-6737

秋田県議会議員 小野一彦 検索
https://ono.akita.jp/



皆様こんにちは。小野一彦(かつひこ)でございます。2月定例県議会は去る3月10日に終了し、令和5年度予算等を議決しました。
この度の報告は、その前の12月県議会で次の3つの重要な議決が行われましたので、今任期の責任を担う県議会議員として、県民の皆様へ報告するものです。
【重要な議決その1】…令和5年度の電力・物価等高騰対策を、令和4年度12月補正予算で前倒し措置
【重要な議決その2】…国道108号小川工区など公共事業を早期に完成させるため、契約手続きの根拠となる債務負担行為予算を議決。
【重要な議決その3】…人口減少に備え、秋田県と県内25市町村と民間事業者が人とお金を出し合い、不足する専門人材の育成や経営戦略アドバイスを受ける専門組織を設立する議決。
以上の報告に加え、わたくしの予算総括審査質問と当局の答弁、12月から2月までの活動を報告するものでございます。
この活動報告書をたくさんの方々が読んでいただいていることに深く感謝申し上げます。
小学生、中学生、高校生の皆様にも読んでいただきますと幸いです!

令和5年1月

議会・委員会

- 31日 県政協議会・2月議会提案予定の予算内示等

政務調査・要望対応

- 6日 由利高原鉄道・インバウンド観光推進について情報交換
14日 引きこもり状態にある方のご家族勉強会
19日 人口減少・少子化対策女性会(本荘地区)
20日 東由利地区畜産振興会総会
23日 第三回秋田活性化ワークショップin由利本荘 事前説明会サテライトオフィス・オンラインにて

- 25日 北前船文化に裏打ちされた由利本荘・海と山食と文化を堪能する実践ワークショップ
26日 第三回秋田活性化ワークショップin由利本荘
28日 異業種により活性化を語り実行する会 役員所要望相談・山内道路公園トイレ存続・青平地区雪崩防止対策等

行事

- 4日 由利本荘市商工会・新春商工パーティー
6日 ロータリークラブ新年祝賀会

- 8日 由利本荘市・二十歳を祝う会
9日 消防出初め式
10日 あきた家畜市場初競り
19日 ロータリークラブ合同新年会
22日 社交飲食同業組合新春の集い 鈴木貢氏受賞を祝う会
27日 ロータリークラブ例会
29日 県飲食業生活衛生同業組合新年会 秋田市
30日 J.C新年祝賀会

令和5年2月

議会・委員会



- 7日 本会議 知事説明
予算特別委員会(日程協議・国補正予算対応分 部局長説明)
分科会・常任委員会(国補正予算対応分)
13日 本会議 代表質問
予算特別委員会(分科会審査報告)
予算特別委員会・常任委員会 討論採決
本会議 可決
14日 本会議 一般質問
15日 本会議 一般質問
16日 本会議 一般質問
予算特別委員会 部局長説明
分科会・常任委員会
20日 予算特別委員会(分科会審査報告)
予算特別委員会・常任委員会(討論採決)
本会議 可決
21日 予算特別委員会 令和5年度当初予算
部局長説明
分科会・常任委員会 令和5年度当初予算
24日 分科会・常任委員会 令和5年度当初予算



- 28日 県政協議会 追加提案
本会議
予算特別委員会 追加提案
分科会・常任委員会

政務調査・要望対応

- 1日 由利地域社長会議・小林工業・小林副社長講演ほか
2日 大東精機経済動向調査
3日 拉致問題啓発舞台劇
4日 矢島地区訪問
5日 西目地区活動報告会
6日 由利地区訪問
8日 小林テック経済動向調査
9日 小林工業経済動向調査
クアルコムジャパン須永社長懇談
10日 倫理法人会 ミーニングセミナーにて小野会員講話「人口減少対策・小野一彦の取り組みを交えて」
マシンマックス経済動向調査

- 11日 神社庁・由利支部建国記念日奉祝大会
小野一彦講話
秋田県の人口減少対策～小野一彦の取り組みを交えて
18日 由利地区訪問
25日 大内地区町内役員会との意見交換会
26日 三菱商事秋田活性化ワークショップ第4回実行委員会
27日 大嶽町訪問

行事

- 7日 由利本荘市優良技能者表彰式
12日 男女共同参画団体青い鳥・禅語学習・抹茶体験会
16日 県庁・本荘由利の会
26日 由利本荘市歩こう会30周年記念式典(余興にて横笛演奏)

令和4年11月27日開催
会場:本荘ナイスアリーナ

由利本荘市民との意見交換会



皆様から頂いたご意見を中心に「総括審査」で質問しました。

詳しくは中面へ!

未来へ伝えたい秋田のインフラ50選のご紹介 建設政策課

県では、小中学生や保護者等に、県内各地の代表的なインフラ資産(ダム、橋梁、トンネル、農業施設、公的建築物等)を広くPRし、建設産業への理解を深めることにより、将来的な入職者の拡大につなげることを目的に「未来へ伝えたい秋田のインフラ50選」を選定しました。
今後は、小中学生等へPR冊子(インフラ資産マップ)を配布するなど、インフラ資産の魅力を広くPRし、小中学校の社会見学等や地域の観光資源と合わせたインフラツーリズムとしての活用を目指しております。



12月補正予算 令和4年12月22日 昨年(12月22日)可決された12月補正予算案の主な内容についてご報告します。

一般会計補正予算 補正額 72億4,341万円 補正後の規模 6,577億6,748万円

【コロナ禍における原油価格・物価高騰対策等】

①新家電の省エネ促進生活支援事業
省エネ性能の高いエアコン・冷蔵庫の新規購入及び買換に対し助成する。
詳細は県ホームページ「あきた省エネ家電購入応援キャンペーン」(生活環境部 温暖化対策課)よりご確認ください。
お問合せ先 利用者向けコールセンター
TEL:018-803-6863 受付時間10:00~19:00(土日祝含む)



- ⑧新 港湾運送事業者支援事業
⑨産業用再エネ電力活用モデル事業
⑩宿泊施設生産性向上支援事業
⑪観光事業者燃料高騰等対策支援事業
⑫フェリー航路活性化・モーダルシフト推進事業
⑬地域公共交通燃料高騰等対策事業
⑭6次産業化施設緊急整備事業
⑮主要農作物種子対策事業
⑯あきたの魅力ある水田農業確立対策事業
⑰あきたの環境にやさしい農業推進事業
⑱新 あきたの園芸省エネ化支援事業
⑲食肉・食鳥処理施設緊急環境整備事業
⑳新 木質燃料生産施設整備事業
㉑秋田県立大学施設設備等整備事業
㉒国際教養大学施設設備等整備事業

【新型コロナウイルス感染症への対応】

- ①検査体制整備事業
②新型コロナウイルスPCR検査等保険適用外負担費
③新型コロナウイルス感染症患者医療費
④新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業
⑤新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス継続支援事業
⑥生活福祉資金等貸付事業

【新秋田元気創造プランに基づく事業】

- ①新 新県立体育館整備事業
②造林地集積促進事業

▼債務負担行為

予算は単一年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても「負担=支出」をしなければならない場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。

- 若者の県内定着・回帰総合支援事業
○新 新県立体育館整備事業 ○ミュージアム活性化事業
<公共事業> 国庫補助事業/地方道路交付金事業(改築)
[由利本荘管内] 国道108号(小川工区)改良工、舗装工(上層路盤)、防雪柵工

詳しくは中面へ!

「未来へ伝えたい秋田のインフラ50選」予算化に向けた小野一彦の取り組み

- 令和元年8月、胆沢ダム調査 ●同年9月インフラツーリズム推進の一般質問
●令和3年5月、にかほ市横岡堰堤及び玉川発電所調査
●同年9月、インフラツーリズムを子供たちの地域の宝と認識し建設人材拡充に生かすべきと一般質問
●令和4年1月、首都圏外郭放水路調査(復命書をHPで公開)、総括審査質問等

小野一彦 令和4年1月12日活動報告 検索



1 賃金水準の向上に向けた社会全体の取組状況について

質問 「由利本荘市民との意見交換会(令和4年11月27日)」で賃金格差のご意見が出された。その際、県で策定された新プラン「選択・集中プロジェクト(賃金水準の向上)」の目指すべき賃金水準として、4年後に地方圏36道県平均の95%の格差の縮小を目指す目標を掲げているという話をしたところ、ほとんどの方が知らない状況だった。県民への周知はどのように行っているのか、企画振興部長にお尋ねしたい。

県の答弁 (鶴田企画振興部長) 新プランを作ってから、ラジオや新聞で情報を発信している。またリーフレットもトータルで4,500枚ほど配布をし、様々な形で周知には努めているが、小野委員のご指摘通り、まだ十分には伝わっていない為、引き続き様々な機会を活用して周知に努めながら、県民の皆様と一緒に賃金水準の向上に向けた取り組みを進めていきたい。

質問 各県のホームページから毎月勤労統計の給与を拾って資料を作成したが、各業種・地域・経済動向やマーケットなど分析して目標達成に向けて課題となっている部分に官民上げて取り組むようなプロジェクトマネジメントをすべきではないか。

県の答弁 (鶴田企画振興部長) 現在、県の賃金水準向上に向けた取り組みを行っている。その事業ごとに進捗状況を管理しており、各部署と情報共有を行っている。また来年度の予算編成過程にも入っており、来年度の予算に向けて、こういった事業を検討していくか、各部署においてそれぞれ業界の方からお話を聞きながら、作業を進めていると認識している。

質問 秋田県の男女の賃金の格差について。秋田県の企業で女性社員を幹部に登用する動きがテレビで紹介されていた。このようにもっと動きを大きくしていけば、女性活躍の場が広がるのではと考える。理事はどう考えるか。

県の答弁 (陶山理事) 昨年の秋田県の男女の賃金格差は78.4%ということで、全国平均の75.2%からすると3%以上優良である。また、一昨年前の秋田の格差は77.3%ということで、1年で1.1%改善しているのが現状だ。ただ、秋田県そのものの賃金が全国的に低いため、ボトムアップが必要であると考えている。昨年は県外からの大企業の参入により県民1人あたりの県民所得の増加率が1位となっている。今、秋田県が目指しているものが徐々に数値となって出てきているのではないかと感じる。

質問 賃金の改定や定期昇給を考える企業の動きが出てきているようだが、小さい企業にはこういった動きが波及して来ないという意見が市民との意見交換会で出され、大きな課題だと考える。また、赤字企業に対しては伴走型の支援をするなど積極的な取組を行うべきと考えるが、企画振興部長はどう考えるか。

県の答弁 (鶴田企画振興部長) 全国との格差が徐々に縮まっている状況にあり、秋田県の様々な優位性を生かしながら進めていくことが肝心だと考える。各部署ともこれから連携を図りながら、さらに良い取り組みをしていけるよう、全体を進捗管理していきたいと考える。

2 水田活用直接支払交付金の見直しへの要望に対する国の対応について

質問 「由利本荘市民との意見交換会(令和4年11月27日)」でもこの事が議題となった。農業を若い人に承継していく上でも、国の方針を知りたい。また、国への要望の中で、耕作放棄地に対する総合的な対応は、どう示されているのか。

県の答弁 (佐藤農林水産部長) 国では、本作化の推進助成ということで、大豆・麦・そばなどを畑作化し、生産する農業者に対し、一時金として10万5000円と、10アールあたり2万円ずつの支給を5年間、という形で措置されている。また、地域で一定の農地計画を作成し作物を育てたり、粗放的な形で農地を保全する組みに対して助成する制度を導入予定である。この事業は、最大、定額で1000万円ずつ、5年間行われる。それにより、様々な排水や設備導入が可能となる。この取組は、今までにないような事業となり、各地域の声に配慮した予算となっている。

質問 そばの振興対策について、これまで、県でも夢プラン・中山間地農業応援・六次産業化でそばに対する支援を行ってきた。ウクライナ問題などで国産そば自給率向上に向け、県でも全国第3位の生産面積を有する県として支援をさらに行うべき。県としてはどのような支援を考えているのか。

県の答弁 (県知事 佐竹敏久) まずは、本県が食料基地として機能を果たすというプライドを持つような仕組みや、農家の方と一緒に振興するという姿勢をしっかりと出しながら、様々な施策を展開していく方向で参りたい。

県のその後の対応 令和5年度新規事業として、「そばの里づくりプロジェクト事業」(単収アップ・異業種連携ブランド化支援)が措置された。

3 秋田県における初婚年齢のピークを踏まえた少子化対策について

質問 私は秋田県の初婚年齢のピークは26歳だということを昨年の12月議会で明らかにしました。早い時期からのサポートや、意識啓発の取組として県が発行した若者向けのリーフレットがあるが、これをどう活用していくのか。

県の答弁 (小野若者未来創生課長) 県と包括連携協定を結んでいる企業8社(生命保険会社・損害保険会社・化粧品メーカー等)を通じて、取引先や営業先などの企業の社員の方々にこのリーフレットを手渡して頂いている状況だ。受け取った各企業の社員の方からライフプランを考える上で参考になったというお声も頂戴しており、そういった声を参考にしながら、今後に活かしたいと思っている。また、県立大学の学生を対象にした、ライフデザイン講座も行っている。その際にも、このリーフレットを活用している。今後も様々な機会に活用しながら、適切な情報提供をし、なおかつ、意識の醸成、結婚をしたいと希望を持った人には、マッチング機会を提供し、1人でも多くの結婚に結びつくような支援をしていきたいと考える。

目的

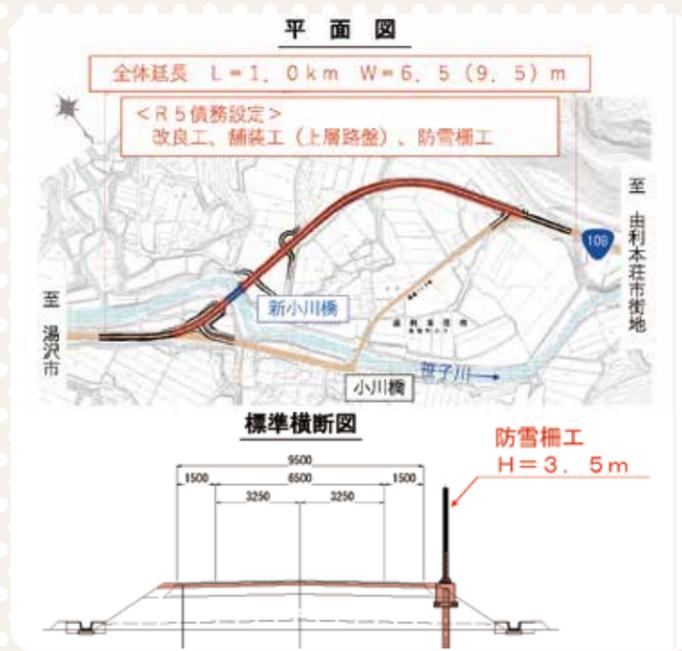
- ・国道108号の小川工区は、大型車のすれ違いが困難なT字交差点を回避し、安全で円滑な交通の確保を目的に、平成29年から整備を進めている。
- ・令和5年度の降雪前に舗装工(上層路盤)まで完了し、令和6年度早期の供用を図るため、債務負担行為を設定する。

事業内容

場所: 国道108号 小川工区(由利本荘市)
 工事内容: 改良工、舗装工(上層路盤)、防雪柵工
 工期: 令和5年2月~令和5年12月

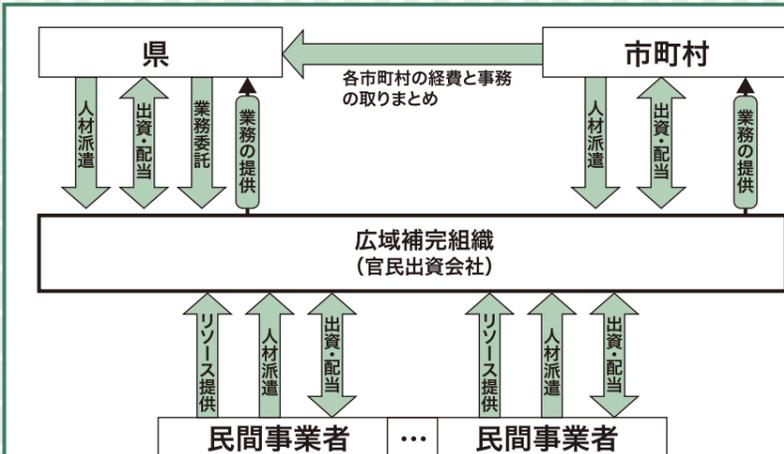
工程表

年度	令和4年度				令和5年度									
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
内容	○ 契約													
	公告	準備工	改良工・舗装工(上層路盤) 防雪柵工											後片付



生活排水処理事業を補完する組織設立について

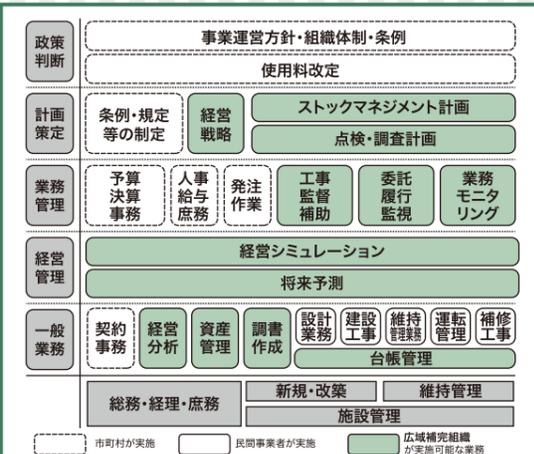
- 小学生、中学生、高校生の皆様へ
- 秋田県の人口は40年前120万人いました。
 - このまま何もしていないと42年後には36万人になってしまう可能性があります。
 - しかし、この予測をみて「大変だ、困ったことだ」と思うのではなく、「人口減少に備えて県民全員参加で何ができるのか」を考えることはワクワクすることです。
 - 下水道はトイレのうんち、お風呂、洗濯の水を管で運び、ポンプで処理場に運び処理します。
 - 人が減ると下水道の処理量が減り、料金収入が減ります。
 - 管やポンプの機械もさびたり壊れたりして直さなければなりません。そのための専門人材も育てなければなりません。例えば、下水道施設について秋田市と由利本荘市が同じものを使う時代がくるかもしれません。
 - そこで、秋田県と県内25の全ての市町村と下水道の専門会社は職員や、出資金を出し合い、人が減ったら減ったりの施設の使い方や専門人材の育成をする会社を作ることにしました。
 - 2月議会では出資金の議決もしました。
 - 秋田県と全ての市町村との連携議決は、下水道経営では全国初の取り組みです。
 - これは、あなた方が活躍する将来に向けた自治の動きなんです。 ●皆さん、県の下水道施設を見学してみませんか?



組織設計図

広域補完組織の組織設計

- ・県と市町村、民間事業者の出資による官民出資株式会社の設立
- ・当組織の職員は、県と市町村及び民間事業者からの派遣職員で構成
- ・市町村が支援を必要とする業務を県が取りまとめの上、当組織へ業務委託



業務内容

広域補完組織の主な業務内容

- ・当組織は、一般業務から高度業務まで幅広く業務を補完
 - ・高度な業務として、ストックマネジメント計画及び経営戦略の策定
 - ・一般業務として、工事及び委託の設計書作成、調査資料作成支援など
- 各市町村は、それぞれのニーズに応じて、委託内容を選択することが可能